

「ワークシート③ 非常用持ち出し品をチェックしよう」

学習のねらい：家にある非常用持ち出し品の種類と量について認識させる。

(活用例)

- ・ 家にある非常用持ち出し品について調べてきて発表させる。
- ・ 家に持ち帰り、家族に聞いて記入する（家族への周知も図る）。

(指導上のポイント)

◆非常用持ち出し品の種類を確認し、注意事項を読ませ、非常用持ち出し品として適切な品物を理解させる。

また、自宅の非常用持ち出し品について確認し、記入することを教える。

◆必要なものが十分用意されているかを確認させた後、自分が持てる分量はどのぐらいかを考えさせる。

◆家族の状況に応じて必要になるものを考えさせる。

例) 祖父母の薬、杖

小さい弟のオムツ、ミルクなど

防災ノート(ワークシート③) 小学生(高学年)版

非常用持ち出し品を チェックしよう

あなたの家では、避難するときの非常用持ち出し品として、どのような物を用意していますか。おうちのの人に聞いて、どのような物が家にあるか右の表に書いてみましょう。

食べ物・飲料水	衣類	家にある物
<p>かんパン 飲料水</p>	<p>下着の替え 寝具 タオル ジャンパー</p>	<p>(例) 家 20×6本</p> <p>水 (ペットボトル) 20×2本</p>
<p>クラッカー かんづめ</p>	<p>絆創膏 タオル</p>	<p>缶詰 5缶</p> <p>レトルト食品 10袋</p>
<p>安全のための物</p>	<p>ふだん使う物</p>	<p>乾パン 3缶</p> <p>下着 10枚</p> <p>タオル 5枚</p>
<p>ヘルメット ガーゼ 防災ずきん きず薬 ばんそうこう</p>	<p>手袋 トイレットペーパー けい薄ラジオ がい中電灯</p>	<p>トイレットペーパー 2個</p> <p>懐中電灯 1個</p>
<p>あると便利な物</p>	<p>マスク 食器用ラップ</p>	<p>ジャンパー 1着</p> <p>マスク 20枚</p>

非常用持ち出し品で注意すること

- 食べ物は、水を使わなくても食べられる、かんパンやクラッカーがよい。(たとえば、カップラーメンは、お湯がないと食べられない。)
- 非常用持ち出し品は、ときどき取り出して確認する。(食べ物や水は、賞味期限に注意。けい薄ラジオやがい中電灯は、使えるかスイッチを入れてみること。)
- 持ち出すときは、リュックやカバンに入れて、一人で持つことができる重さや、大きさにする。

あなたが持っていく物は何か。

水 (ペットボトル) 1本、タオル2枚、ヘルメット1個、マスク2枚 等